

N P O 法人 静岡情報産業協会
令和元年度第6回理事会 事務局報告補足資料

令和元年 10月 29日(火)

1. 静岡市・静岡県関係機関訪問 (10月9日)

(1) 静岡市企画局

企画課の長島副主幹と面談し、長島副主幹にも同席いただき、改めて10月21日にICT推進課を訪問し、同課浅場課長と情報化推進係久保田係長に挨拶の後、同課情報課推進係の新庄副主幹と面談し、市市のICT推進政策について説明を受けるとともに、今後のSIIAとの連携について話し合った。

従来より、WiFiパラダイス事業、オープンデータ推進事業などを通じて同課と密接な交流はあったが、近年次第に間遠になっていたため、今回を機に、改めて情報共有と事業協力体制を構築していくことで合意した。

その皮切りとして、10月の理事会に新庄副主幹にオブザーブ出席いただき、そこで同課が目下推進している、「自治体連携・企業連携」事業等について説明いただくことになった。

https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000457.html

(2) 静岡県経営管理部

ICT推進局ICT政策課小泉課長、同課加藤ICT政策班長、伊藤ICT政策班主任と懇談し、現在県では「自治体Pitch」(地方自治体向けの共同利用可能なシステム等プレゼンテーション)の取組みを検討しているところで、今後SIIAにも県内ベンダーへの呼びかけと参加依頼したい旨の話があった。

<自治体ピッチ (Pitch) >

https://cio.go.jp/sites/default/files/uploads/documents/jichitaipitch_201909_1.pdf

<https://cio.go.jp/jichitaipitch>

(3) 静岡県産業振興財団

「IoT研究会」事務局の長井経営支援グループ長と面談
同会の会員に登録しているSIIAとして、改めて連携の可能性について話し合い、当会も本年度開催予定の「RPA講座」の情報公開などを通じて、引き続き情報共有を図りつつ進めて行くことになった。

(4) 静岡県国際経済振興会 (SIBA) (パンフレットを置いてもらう)

(5) 静岡県中小企業団体中央会（佐塚事務局長にパンフレットを渡す）

2. 静岡理科大学理工学部「ドローン用ソフトウェア開発技法」講演依頼
現在、無人航空機（ドローン）の発展が著しいが、我が国では、ドローンに関するソフトウェア技術者が不足しており、この辺の事情について SIIA を通じて地元企業にもソフトウェア開発の底辺を広げる機会と捉えてもらえるようドローンが必要とするソフトウェアあるいは開発に必要な開発技法などについて勉強会を提案したところ、同大学機械工学科田村特任講師より「引受け可能」との回答を得ている

3. 深圳市駐日経済貿易代表事務所 ^{ひやおか} 冷岡倍華副所長とコンタクト開始

<連絡記録>

- ① 2019年7月31日 礼状（冷岡副所長宛） 別紙参照
- ② 2019年10月8日 メール発信（冷岡副所長宛） 下欄参照
- ③ 2019年10月11日 冷岡副所長宛に電話し、下記のコメントを得る
 - ・今後の連絡は、電話でもメールでも構わない。
 - ・現在、深圳の状況が慌ただしく、必ずしも期待に添えない可能性もあることを承知していただきたい。（以上、冷岡副所長）

<冷岡副所長宛メール>

2019/10/08

先般のお礼状にも書きました通り、本年の6月に、私どもの視察団が無事に所期の目的を果たし無事に帰国しましたことに、改めて冷岡副所長はじめ関係各位のご尽力の賜物と厚く御礼申し上げます。

その後、当協会の理事会におきまして、来年度の海外視察事業について協議したところ、多くの理事から「今年参加できなかった各社の社員の皆さんにも、本年度の視察事業と同じ体験をしてもらったら如何か」という声が多く、未だ結論ではありませんが、深圳市を視察先にする案が最有力となっております。

それに加え、本年度の視察日程が、多くの参加社を迎えることができなかったことの反省により、実施時期を6月から11月の間の幅広い候補を挙げて、できる限り多くの参加社を募りたいとも考えております。

今回の視察で、視察団のメンバーから好評を得た理由の一つに、深圳市中日経済文化交流促進会秘書長の黄旭様の存在が大きかったとの声があります。

つきましては、視察にあたって黄旭秘書長様のご助力を再び頂くことが私たちの希望するところであります。

以上、一方的なお願いで不躰かとは存じますが、何卒今後引き続き私共静岡情報 産業協会へご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。